

**統計方法の異なる期間の真夏日・猛暑日の地点数を比較することはできません。**

1979年以降における日最高気温の統計方法は下表のとおりです。

統計方法の違いにより、③の統計方法では真夏日（猛暑日）となる日でも、②や①の統計方法では真夏日（猛暑日）とならない場合があります。（参考資料）

	統計値	統計方法	期間
①	日最高気温	毎正時の極値	1979年～2002年12月31日
②	日最高気温	毎10分値の極値	2003年1月1日～ アメダスの観測方法変更日(2008・2009年頃)※1
③	日最高気温	任意の時分の極値	アメダスの観測方法変更日～現在

※1 アメダスの観測方法変更日は観測所毎に異なります。詳細は下記ページをご参照ください。

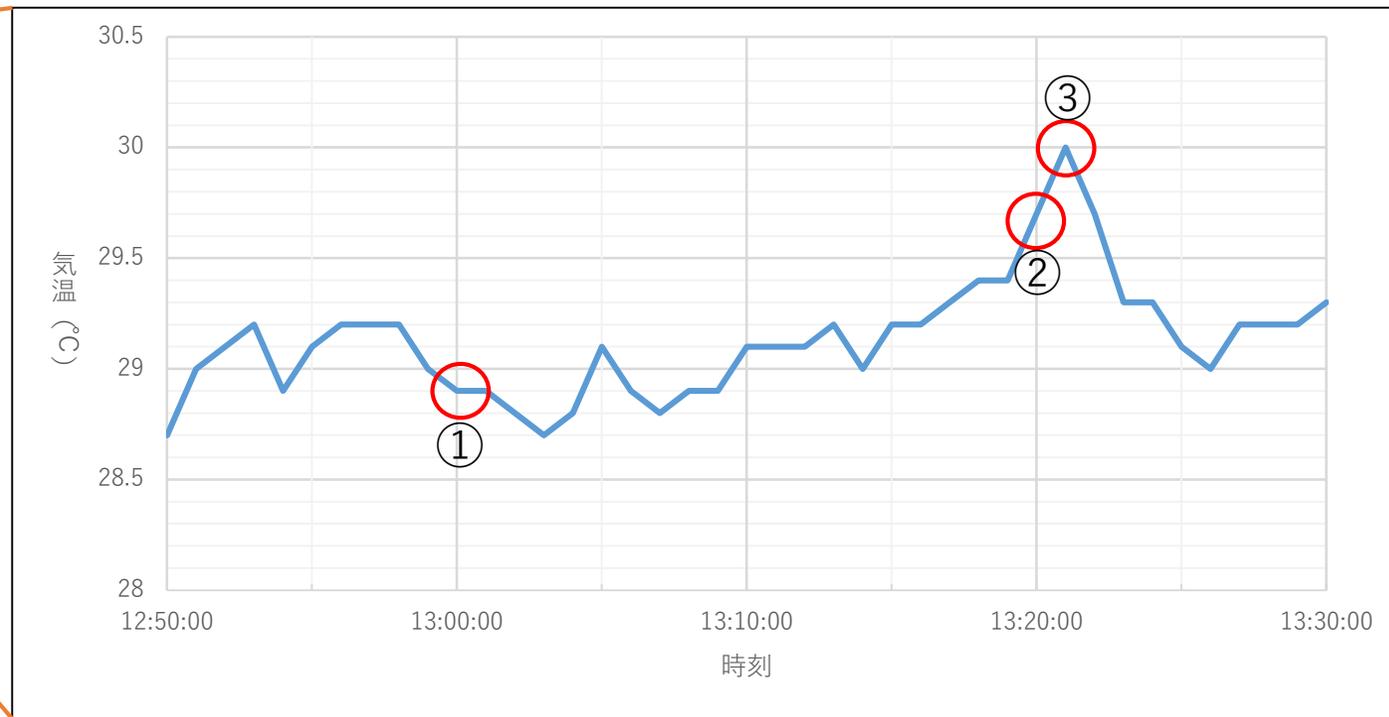
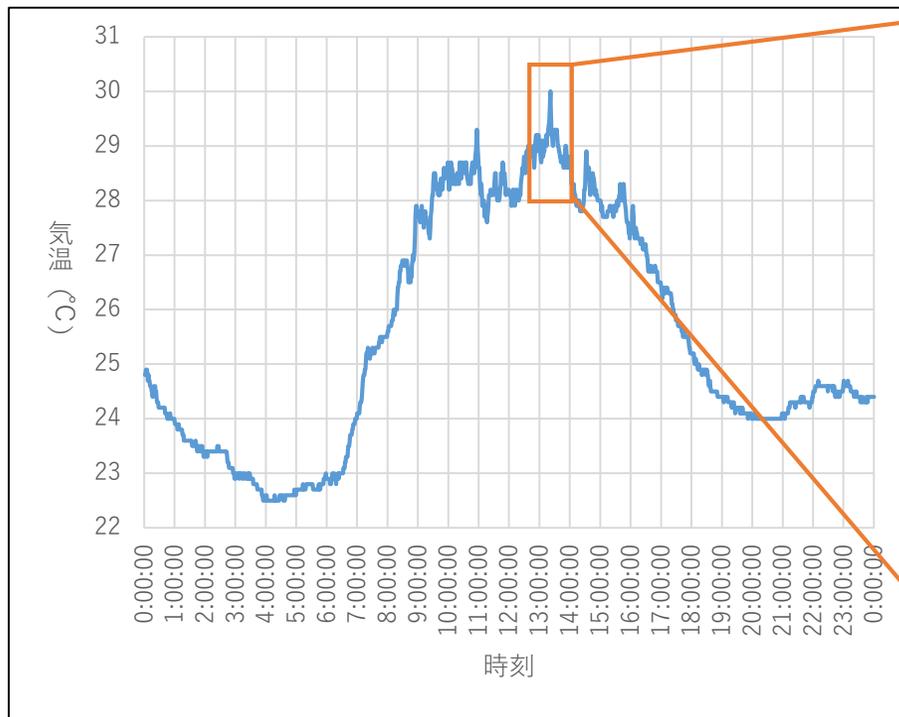
[https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/man/new\\_amedas.htm](https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/man/new_amedas.htm)

※ 地上気象観測を実施している地点については、1979年から現在まで、任意の時分の極値で求めた日最高気温を用いており、上記の統計方法の変更には該当しません。

<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>

# (参考資料) 統計方法の違いによる真夏日の判定が異なる例

統計方法の違いにより真夏日の判定が異なる日の気温データの例を示します。  
同じデータであっても、統計方法の違いにより真夏日の判定が異なることがあります。  
**このため、統計方法の異なる期間の真夏日・猛暑日の地点数を比較することはできません。**



	統計方法	日最高気温	観測時刻	真夏日の判定
①	毎正時の極値	28.9℃	13:00	真夏日ではない
②	毎10分値の極値	29.7℃	13:20	真夏日ではない
③	任意の時分の極値	30.0℃	13:21	真夏日となる